

新年あけま おめでとう



議長 畠 沢 一 郎

明けましておめでとうございます。
昨年は市議会議員の改選期にあたり、二名定数減のもとで二十八名が選任されました。若さあふれる新議員ともども、心新たに議会活動に専念してまいる所存ですので、重ねてご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、戦後五十年を迎えた昨年は、阪神大震災、地下鉄サリン事件など、自然災害の恐怖と人間社会のゆがみが生んだ殺りくに、平和の尊さと文明社会を満喫していたわれわれは震かんさせられ、暗たんたる年明けでした。また、長期に及ぶ構造不況は、バブル崩壊と相まって地方経済をも圧迫し、地場産業に底力のない地方都市にとっては厳しさを強いられた年でもありました。幸いにも我が市では、景気低迷を克服すべく五大プロジェクト事業が本格的に始動し、今春には秋田桂城短期大学が開校、来年には多目的ドームのオープン、平成十年には待望の大館能代空港の開港、そして老人福祉総合エリアの建設など、二十一



世紀を展望した「北東北の中核都市・大館」の街づくりが、でっかい夢をのせて着実に進展しております。そして五大プロジェクトをベースに二〇〇五年を目安とした「生涯・住んで・暮らしていける都市」の形成に向けた大館市都市計画マスタープランもスタートしました。

市議会としてもビッグ事業の実現に積極的に参画し、当面、木造建造物世界最大級となる「多目的ドーム」の高度利用、既存施設との有機的活用等により市民生活への波及効果を図るための特別委員会を設置したところであります。そのほかにも地場産業振興策、とりわけ新食糧法施行による米の問題、大型店進出による商業界のドーナツ化現象、若者の定着化と就労策等の山積する課題についても一層積極的に取り組んでまいります。この一年もまた、市民の皆様の英知をいただきながら一丸となって努力する所存であります。

本年もよろしく申し上げます。